

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
児童福祉		必修 (社) 選択 (精.心)	2	1.2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
渡邊 隆文	B307	t.watanabe		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p><目的> 様々な生活上の課題を抱え、社会福祉サービスを必要としている子どもやその家族のニーズに対応する専門職が求められている。児童福祉では現状に至るまでの歴史の変遷を理解し、これからの児童福祉について視座を広げることを目的とする。</p> <p><概要> 本講義では、子ども家庭福祉の変遷と現状を把握し、それを支える制度・施策について理解する。一方の講義だけではなく、受講生同士のディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション等を活用し理解を深める。</p>				
学 習 上 の 助 言	社会福祉士国家試験科目と重複する部分もあるため、関連づけて復習しておくことが望ましい。				
教 科 書	新・社会福祉士養成講座 15 第 7 版 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度/編:社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版				
参 考 書	必要に応じてプリントを配布する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	児童福祉の理念ならびに歴史の変遷について理解し、説明できる。			HSU(2)、(6)、WP(5)	
②	児童を取り巻く社会的状況や諸問題について理解し、説明できる。			HSU(2)、(3)、WP(5)	
③	児童福祉の実施体制ならびに対応する制度・施策を理解し、説明できる。			HSU(2)、(3)、WP(5)	
④	自分と他人との価値観・考え方の違いを理解し、説明できる。			HSU(6)、WP(3)、(4)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	講義契約 (講義の概略、進めかた、学びの方法、成績評価) について理解する。児童福祉の全体像を理解する。	同時双方向型授業	内容の復習を行う。		1
2	子どもが置かれている社会的状況について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
3	子ども家庭福祉が目指す方向性について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
4	児童福祉の固有性について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
5	児童福祉の発展について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
6	子ども家庭福祉の実施体制、財源、専門職について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
7	今まで学んだ知識の関連性を整理する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
8	母子保健、障害・難病のある子どもと家族への支援について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
9	児童健全育成、保育について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
10	地域子育て支援、ひとり親家庭の福祉について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
11	児童の社会的養護サービスについて学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
12	非行児童・情緒障害児への支援について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		2
13	児童虐待対策について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		3
14	統計データを参考に児童福祉の実態を整理する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。		3
15	全体を通して重要なポイントを再度学習する。	同時双方向型授業	配付プリント、講義範囲の教科書を復習する。		5
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	0	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	60	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に筆記試験（選択式）を実施して評価する。 出題範囲は、講義中に用いた教科書・配付プリントから中心に出題し、理解度を問う。				試験結果を掲示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①		講義中に理解を深めるために受講生間のディスカッションやワークを実施する。講義をただ受ける受動的な姿勢でなく、積極的に学ぶ姿勢であるかを評価する。				同時双方向授業中、また最後の講義中にて総評を行う。
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>Microsoft Teams をつかった同時双方向型授業を行う。 課題ダウンロードや映像共有を行うため授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励する。 尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p> <p>社会福祉士取得希望者は必ず履修すること。 「授業計画」の事前事後学習に加え、講義中に紹介した児童福祉に関連する図書、映画、動画資料などを閲覧し、幅広い視野から相談援助技術の素養をさらに深めることを課題として課す（20 時間）。</p> <p>教員の実務経験：社会福祉士取得後 6 年の実務経験。 実践的授業の内容：教科書に記載されている一般的事項を教えつつ、社会福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。</p>							